

反比例なのになんで比例定数なの？って方へ  
以下私なりの解釈ですので、ご了承ください。  
比例の式で比例定数ってなんとなく意味が分かりますよね。  
比例を表す式

$$y = ax$$

で、 $a$  を比例定数といいます。  
では、なんで、反比例を表す式

$$y = \frac{a}{x}$$

で、 $a$  は比例定数なのでしょうか？  
それは、反比例の式ではこう考えることができます。  
反比例の式を次のように書くと、

$$y = a \times \frac{1}{x}$$

ここで、 $\frac{1}{x} = X$  とすると、

$$y = a \times X$$

$$y = aX$$

となり、比例の式になったことがわかります。つまり、反比例の式を比例という言葉を使って置き換えると、 $y$  は  $X$  に比例する。 $X = \frac{1}{x}$  なので、 $y$  は  $\frac{1}{x}$  に比例するとなります。

したがいまして、反比例も比例の式だということがわかるでしょうか。  
ですから、比例も反比例もともに、定数  $a$  のことを比例定数というのでしょうか。  
ではでは。